

斜里町中期財政収支の試算について (H23.9)

総務環境部財政課財政係

- 斜里町の中長期財政収支の試算については、毎年度、普通交付税の算定結果を待って、概ね5年の中期財政収支試算を調整し、9月に開かれる定例町議会において説明し公表してきたところです。

平成23年度においては、平成17年度に策定した「第5次斜里町総合計画」を含めて、向こう4年間（平成23年度～平成27年度）としたところです。

今回掲載公開している資料

- ・ 斜里町中長期財政シミュレーション(H23～H27)
- ・ 「大型事業」の主な内容
- ・ 「推進・連携を図る事業」の主な内容
- ・ 平成23年度以降の起債借入予定額等
- ・ 起債制限比率・実質公債費比率の見通し
- ・ 地方交付税の推移

- 現下の地方財政を取り巻く情勢としては、景気低迷に伴う地方税の減収や社会保障費のさらなる負担増、さらに地域における医療不安の他、地方交付税の原資となる国税収入が大幅に減少するとともに、国と地方の歳入・歳出関係を抜本的に見直す「三位一体改革」が集中的に進められた結果、都市と地方との地域間格差はますます広がり、地方の財政環境は厳しい状況の中にあり、今後の見通しも不透明な状況にあります。

このような背景にあって、歳入の4割近くを占める地方交付税は、臨時財政対策債を含めると、平成23年度の交付見込額を37億円と見込んでおりますので、平成16年度の交付額まで回復しておりますが、ピーク時でありました平成11年度の45億5千万円からみますと△8億4千万円、率では△18.5%の減額となっております。

- 歳出では、大型事業である「斜里中心市街地活性化推進事業」は、道の駅等の施設整備、区画整理に伴う補償や関連整備など主要な事業を終え、上下水道等の整備を進めていくこととなります。また、「一般廃棄物処理施設整備事業」については、平成22年度から継続費として施設の建設事業を進め「一般ごみ資源化施設建設」や「最終処分場建設」の他、平成23年度には「生ごみ堆肥化施設建設」等、各種施設整備事業が進捗していくこととなります。また、「斜里中学校大規模改修事業」についても、耐震診断の結果を踏まえて、平成23年度に第1体育館の改築、平成24年度以降に校舎等の大規模改修へと事業を進めていくこととしており、さらに、新光北町営住宅の再整備についても、平成23年度に基本・実施設計を実施し、平成24年度より、建設工事を計画しているところであります。

その他、国保病院等との連携事業をはじめ各種サービス事業の着実な運営、世界自然遺産登録地域としての事業や農業・漁業・観光商工業の振興を図る事業を進めていかなければなりません。

- シミュレーションでは平成 24 年度から単年度収支の不足を見込まなければならない状況であり、これを財政調整基金で補っていくことで財政が維持される厳しい予測がされています。こうした課題の中、地域自らが共生社会の形成を目指すことが必要となっており、一層簡素で効率的な行財政改革を積極的にすすめていくことが必要となっています。

- 地方自治体を取り巻く政治・経済・社会の環境は不透明で、閉塞感が漂い、多くの課題が山積みしております。また、財政状況は依然厳しい状況の中ではありますが、財政健全化判断指標を念頭に、限られた財源の効率的・効果的配分に取り組み、中長期的な展望を見据えながら行財政の改革に努め、より一層堅実な財政運営に努めていきます。